

酸性雨部会 告知・報告

1. 最近の活動状況

毎年、3月上旬に大気環境学会会員及び市民を対象に講演会(環境学習・教育を含む)を開催(hp(酸性雨研究会で検索)で広報・公開)。本年度は2007年2月21日に別添のとおり開催。

2. メンバー

主なメンバーは3. 組織の通り。

3. 組織

情報発信等のため以下の地区幹事を置き、
(つくば地区) : 村野健太郎(独立行政法人国立環境研究所)
(北関東地区) : 友部正志(茨城県霞ヶ浦環境科学センター)
(千葉県庁) : 押尾敏夫(千葉県環境研究センター)

(都区市役所関係) : 小山功

(南関東地区) : 鎌滝裕輝(東京都環境科学研究所)

東京講演会のため村野健太郎、押尾敏夫(部会長)、小山功らの担当幹事を置く。

なお、会計担当として、井上智博(千葉県環境研究センター)を置く。

4. 今後の方針

酸性雨関連の調査および研究の推進ならびにそれらの情報の収集・交換・大学・国・地方自治体や他学会等の酸性雨研究者及び酸性雨研究会との連携等を行い、大気汚染原因の解明及び汚染防止の推進に尽くすことを目的に組織されている大気環境学会酸性雨分科会と連携し、会員及び市民を対象に東京で講演会を開催し、人の健康と環境保全を図ることに寄与する。

5. 分科会など関係の深い組織との連携状況

大気環境学会酸性雨分科会、大気環境学会近畿支部(酸性雨グループ)、酸性雨研究会

6. その他

人の健康と環境保全のために大気汚染原因の解明及び汚染防止は重要な課題であるが、「持続可能な」をキーワードとするような連携及びこれを実現するための市民への啓発支援(環境学習・教育を含む)及び理科離れに対応するようなプログラム実施(例えば、難しいかもしれませんが出前講座)。

メモ作成: 押尾